

令和6年度 都農町立都農東小学校・内野々分校 自己評価書

学校経営ビジョン	○自分で考えて行動する子 ○チャレンジする子	○自他を大切にする子 ○地域とともにある学校
----------	---------------------------	---------------------------

【評価基準 4段階評価 4:期待以上 3:期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する】

重点指導項目		方法・手立て	評価内容	自己評価		○数字:学校の自己評価コメント・改善点 □:学校運営協議会委員の評価
				児童 職員 保護者	総合	
自律	①「わかる・できる」授業の実践	・職員研修の充実 ・学力タイム等の取組	児:授業は、わかりやすいですか。 職:全教科において、「わかる・できる」授業が実践できているか。 保:子どもは、授業が分かりやすいといっているか。	3. 5 2. 6 2. 8	2.7	①「わかる・できる」授業の実践～ 保護者の評価は2.8である。子どもが分かりやすい授業にするために、職員研修等で授業改善を図る。 ②家庭学習の充実～職員の評価は2.6、保護者の評価は2.5である。学年の実態に応じた家庭学習の在り方について、子どもと保護者への理解を深めていく。 ③読書活動の推進～保護者の評価が低い。家庭であまり読書をしていないのではないだろうか。 □人数が少ないからこそ目の行き届いた教育がなされている。 □1年生の授業で発表は大変よかったが、姿勢が少し気になりました。 □信じることが一番でしょうか。 □保育園の頃の姿を思えば、かなり自律しているように思います。
	②家庭学習の充実	・家庭学習カードによる取組 ・家庭学習の日常的な支援	児:おうちでは、すすんで勉強をしていますか。 職:家庭学習の充実を図ることができているか。 保:子どもは、進んで家庭学習に取り組んでいるか。	3. 0 2. 6 2. 5		
	③読書活動の推進	・読書タイムの設置 ・読書月間の取組	児:本をよく読んでいますか。 職:読書への関心を高め、様々な分野の本に親しませているか。 保:子どもは、読書をよくしているか。	2. 7 2. 7 2. 0		
尊重	④生徒指導・特別支援教育の組織的な対応	・組織体制の構築 ・初期対応の実施	児:学校は、楽しいですか。 職:特別支援教育の充実を図り、全ての子どもを伸ばすことができたか。 保:子どもは、学校が楽しいといっているか。	3. 6 3. 1 3. 0	3.1	④生徒指導・特別支援教育の組織的な対応～評価概ね高めである。今後も学級担任だけではなく、全職員で児童に関わる体制を整えていく。特別支援教育に関して教師の意識の高まりがみられる。 ⑤いじめ・不登校0の取組～児童の評価は 3.6 である。心のアンケートの後など、その都度児童に確認を行い必要に応じてケース会議を開く。観察を通して児童への適切なサポートと、保護者の協力を仰ぐ。 ⑥あいさつの励行～児童の評価は 3.2、職員の評価は 2.8 である。学校内では、児童会の取組を中心に今後も行っていく。 □ワークショップでハサミ等笑顔で貸してあげる姿が見られ「助け合う心」がとても身近に感じられた。 □上級生が下級生のお世話をよくやっている。ゴールボールはよい取り組みだった。 □体育の授業で準備や片付けを進んで行う子どもたちが多くみられた。 □昼休みの子どもたちの過ごし方も見学したい。 □国全体として増加していると聞くと、不登校の対応はどうなっているのか。 □一番大切に難しい問題だと思います。
	⑤いじめ・不登校0の取組	・日常観察・教育相談の充実 ・あすなろ会での共通理解	児:たくさんのお友だちとなかよくできていますか。 職:いじめの早期発見と早期解決に努めているか。 保:子どもの友人関係は、良好であるか。	3. 6 3. 1 3. 1		
	⑥あいさつの励行	・日常的な指導の徹底 ・地区別交通集会の取組	児:進んで大きな声であいさつができていますか。 職:児童は進んで挨拶をしているか。 保:子どもは、気持ちよいあいさつをしているか。	3. 2 2. 7 2. 8		
挑戦	⑦感染症・病気の予防、安全面	・うがい・手洗いの徹底、日常の安全指導 ・歯の治療の啓発	児:病気の予防や安全に気を付けて生活していますか。 職:感染症や病気の予防について、指導の充実が図られているか。 保:子どもは、感染症や病気の予防や安全面に努めているか。	3. 5 2. 8 2. 9	2.9	⑦感染症・病気の予防、安全～児童の評価は 3.5 である。廊下歩行や外での遊び方など日常生活の中で、児童の安全意識を更に高めるようにする。 ⑧生活習慣の確立～教師 2.4、保護者 2.7 である。メディアとの関わりについて、学校と家庭との連携を図りながら工夫改善する必要がある。 ⑨体力の向上～児童の評価は 3.4 である。それと比較すると保護者の評価は 2.8 である。家庭生活においてあまり運動していないのではないだろうか。 □縄跳びでは高い目標に向かって挑戦していた。失敗した時、「もう一回」と言ってチャレンジする姿が印象的でした。 □自分の記録に挑戦する持久走はとてもよい取り組みだと思う。 □運動会は、本校も分校も素晴らしかった。分校 □個性を重視されている時代なのでしょうか。
	⑧生活習慣の確立	・さわやかタイムの実施 ・家庭への啓発	児:早ね、早おきができていますか。 職:児童は「早寝・早起き」など健康的な生活習慣を身に付けているか。 保:子どもは、早寝・早起きの習慣が身に付いているか。	3. 0 2. 4 2. 7		
	⑨体力の向上	・体育の時間の指導法の工夫 ・朝の体育活動の取組	児:よく運動をしていますか。 職:体力向上プランをもとに、柔軟性や走力の向上が図られているか。 保:子どもは、進んで運動をしているか。	3. 4 2. 9 2. 8		
協働	⑩体験活動の充実	・生活科・総合的な学習等の取組	職:地域の人材を可能な範囲で活用し、体験活動の充実を図っているか。 保:学校は、体験活動に積極的に取り組んでいるか。	2. 9 2. 8	2.8	⑩体験活動の充実～学校としての取組が、保護者に十分理解されていないのではないかと。 ⑪家庭・地域との連携～地域や家庭と連携に関して、保護者に対して発信していく必要がある。 ⑫積極的な情報の発信～情報の発信について、学校と保護者でイメージにずれがあるのかもしれないので今後もホームページを見ていただくよう情報を発信していく。 □コロナ禍が終わり徐々に関わりが戻ってきている。 □保護者との連携や情報発信がよくできていると思います。 □地域の一員として学校への協力、見守りをがんばりたいと思った。 □協力できることは及ばずながらお手伝いさせていただきます。 □今後とも協働させていただきたいと思います。
	⑪家庭・地域との連携	・キャリア教育の推進	職:キャリア教育を推進して、地域との連携を図っているか。 保:学校は、地域との連携が図られているか。	2. 7 2. 8		
	⑫積極的な情報の発信	・文書の配付やホームページによる情報発信	職:家庭や地域に積極的に情報を発信しているか。 保:学校は、教育活動の様子を家庭や地域に積極的に発信しているか。	2. 9 3. 1		
	⑬自己肯定感(児童のみ)		・自分にはよいところがあると思うか。 ・先生はあなたのよいところを認めてくれていると思うか。	3.2 3.5	3.3	⑬自己肯定感(児童のみ)～わりと高いので、今後も児童のよいところを認め、励ましていく。